

鍼灸医学 ベトナム国際 セミナー報告

1 ー日本鍼灸医療の国際貢献と海外展開への挑戦ー

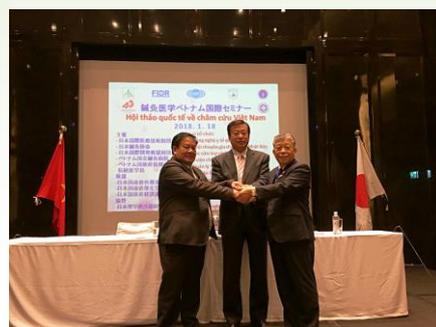
2018年1月18日(木)、国際医療技術財団、日本鍼灸師会、国際開発救援財団、ベトナム政府保健省伝統医学局、ベトナム国立鍼灸病院の主催(後援:日本国政府外務省、厚生労働省、経済産業省 協賛:日本理学療法器材工業会)により、「鍼灸医学ベトナム国際セミナー～医療の向上に貢献する日本鍼灸～」がベトナム国ハノイ市の J.W.マリオットホテルにおいて開催されました。

本セミナーは、日越外交関係樹立45周年記念事業第1号に選定され、歴史的な初めての鍼灸国際セミナーとなりました。在ベトナム日本国大使館梅田邦夫特命全権大使の臨席をはじめ、ベトナム全土から114名(伝統医学医師・政府保健省役人・教育関係者など)が参加し、日本側(鍼灸師・伝統医療メーカー・日本国大使館職員など)は36名が参加し、日本とベトナムのマスメディアにも報道されました。

2 開会セレモニー・基調講演

はじめに、国際医療技術財団 小西恵一郎理事長より開催の趣旨並びに意義について論述があり、ベトナム政府保健省グエン・ヴィエット・ティエン副大臣の挨拶、そして、在ベトナム日本国大使館 梅田邦夫特命全権大使の挨拶がありました。

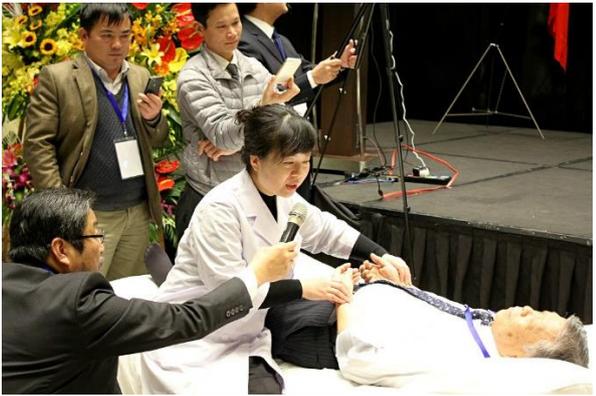
基調講演では、日本鍼灸師会 仲野会長より「医療の向上に貢献する日本鍼灸」の演題で、日本鍼灸の歴史、鍼灸技法(打鍼法、管鍼法)、灸、小児鍼、接触鍼、鎮痛や免疫等の学術的研究、鍼灸師養成カリキュラム等についてご講演されました。そして、日本とベトナムがこれからも鍼灸医療を通して、良い関係を築いていきたいと力強く締めくくられました。



目次

鍼灸医学ベトナム国際セミナー報告	
ー日本鍼灸医療の国際貢献と海外展開への挑戦ー	1
開会セレモニー・基調講演	1
シンポジウム 日本鍼灸のデモンストラーション	4
シンポジウム 講演「ベトナム鍼灸の歴史と現状」	4
企業展示	4
在ベトナム日本大使公邸レセプション	4
ベトナム国立鍼灸病院視察見学	5
観光	5
鍼灸医学ベトナム国際セミナー共同宣言	6
今後の展望	6







3 シンポジウム

日本鍼灸のデモンストレーション

デモンストレーションは、日本の鍼灸臨床について紹介されました。

実技1(馬場先生による「経絡治療の実際」)、実技2(志野先生による「刺絡療法・灸」)、実技3(寺川先生による「経絡治療の特色」)、実技4(吉村先生による「皮膚摩擦による擦過鍼法」)、実後5(廣橋先生による「気血津液弁証の虚証と美容鍼灸」)が行われ、日本独自の伝統的な鍼灸治療が紹介されました。

実技では、ベトナム医療従事者からの日本鍼灸の体験希望があり、施術を受ける場面もあって、関心の強い様子がみられました。

ベトナム医療従事者からの日本鍼灸の体験希望があり、
施術を受ける場面もあって、関心の強い様子がみられました。



4 シンポジウム

講演 「ベトナム鍼灸の歴史と現状」

ベトナム国立鍼灸病院グエン・バー・クアン院長より「ベトナム鍼灸の歴史と現状」の演題で、ベトナムにおける鍼灸の診療活動、科学的研究活動、教育、現地指導と1816計画の実施、国際協力、国立鍼灸病院の発展と方向性などについて講演がありました。

5 企業展示

企業ブースでは、本セミナーに協賛された日本の鍼灸関係企業(セイリン株式会社、株式会社山正、株式会社ファロスの各社)と、ベトナムの鍼灸関係企業の展示が行われ、参加者へ鍼灸関係の製品について紹介がされました。



6 在ベトナム日本大使公邸レセプション

セミナー後には、在ベトナム日本大使公邸にて、在ベトナム日本大使館梅田特命全権大使によるレセプションが開催され、日越の鍼灸関係者が参加し交流が行われました。



7 ベトナム国立鍼灸病院視察見学

2018年1月19日(金)、ベトナム国立鍼灸病院へ日本の鍼灸関係者28名で視察見学しました。ベッド665床、38科、医療スタッフ約600名の鍼灸単科の国立病院です。鍼麻酔、脳梗塞後遺症の長鍼、ベトナム式の灸法、あん摩、伝統スパなどベトナムにおける鍼灸の実況を検分しました。

ベトナムの医療費の1.5%が鍼灸治療であり、鍼灸受療率は国民の20~30%であります。

甲状腺腫瘍の手術では、内関、翳風、水突、合谷、缺盆あるいは雲門への鍼通電療法による鍼麻酔が使われていました。必要に応じて鎮痛剤を使用することのこです。麻酔のアレルギーや身体の弱い患者に鍼麻酔が良く、手術中に患者に確認しながら行えるのが利点であるとのことです。

8 観光

ホーチミン廟、タンロン遺跡、ハノイ大教会、バッチャン村ハロン湾などを観光し、ベトナムの歴史や文化に触れました。

なかでも、ハロン湾の鍾乳洞は、広大で幻想的であり、時の流れを感じて圧巻でした。





9 鍼灸医学ベトナム国際セミナー共同宣言

鍼灸医学ベトナム国際セミナーにおいて、主催の5団体による、国民の健康増進に寄与することを目指し、鍼灸医療に関する医療技術協力プロジェクトを協力して実践するとした共同宣言が採択されました。

○私たちはお互いの伝統医療を尊重します

○私たちは私たちの伝統医療がベトナム国民医療制度へ統合されることを支援し、国民の健康増進に寄与することを目指します

○私たちは鍼灸医療に関する医療技術協力プロジェクトを企画立案し、双方が協力して実践します

10 今後の展望

今後、ベトナム社会での疾患や症状を調査して、日本の鍼灸治療のデータをもとに、協議を進めていく必要があると考えられます。

その上で、ODA(政府開発援助)の活用を目指し、日本での研修を実施すること、そして、日本の鍼灸がベトナム社会へ広く普及し、医療の向上に貢献することが求められるでしょう。



報告：公益社団法人 日本鍼灸師会 理事

国際委員会 委員長

広報普及 IT 委員会 副委員長

東京オリンピック・パラリンピック委員会 副委員長

一般社団法人 愛知県鍼灸師会 副会長

組織部長

児山 俊浩

